

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和元年9月24日 VOL. 119

高洲地区を「高齢者のための支え合いの地域づくり推進モデル地区」に指定！

令和元年9月5日(木)に高洲地区交流センターにおいて、高洲地区社会福祉協議会（以下「高洲地区社協」）の理事会が開催され、高齢者のための支え合いの地域づくりを加速して推進することが確認され、理事会終了後、地域包括ケア推進課長から高洲地区社協の岩堀会長にモデル地区の指定書を交付しました。

このモデル地区は、平成30年度に広幡地区が指定を受け、広幡地区では「生活支援」「買い物支援」「居場所づくり」の3つの事業の立ち上げを実現しました。

高洲地区社協では、平成30年度に高齢者への意識調査を行い、その結果を集約し、高齢者の困りごとや将来に向けた心配ごとをとりまとめました。こうした動きの中で、高齢者のための住民主体の支援を進めるため、市のモデル地区の指定を受けて具体的な取組の推進を図り、本年度のモデル地区の指定を希望したものです。



高洲地区社岩堀会長へ指定書を交付



検討会で意気込みを話す岩堀会長

指定書の交付のあと、新たに立ち上げた、自治会長、町内会長、民生委員などの高洲地区社協役員、地域包括支援センター職員、市社会福祉協議会と市地域包括ケア推進課の生活支援コーディネーターなどで構成される「高洲地区高齢者のための支え合いの地域づくり事業推進検討委員会」（以下「検討委員会」）の第1回目の会議を開催し、今後推進する地域づくりの取組の柱として、移動支援を含めた「高齢者のための生活支援」と「介護予防のための通いの場づくり」について具体的に進めていくことを確認しました。今後、毎月1回のペースで検討委員会を開催し、高洲地区で実施する高齢者のための支え合いの取組の実現に向けた協議を進めていきます。

いきがい・助け合いサミットin大阪のポスターセッションに参加しました！



取組紹介や情報交換を行う職員

令和元年9月9日(月)、10日(火)に大阪国際会議場において開催された（公財）さわやか福祉財団主催「いきがい・助け合いサミットin大阪」の中で行われた全国の支え合いの地域づくりの取組を紹介するポスターセッションに、静岡県内の選考を通過して本市と市社会福祉協議会が進める取組の紹介



参加者で賑わう会場

を行ってきました。会場では全国の自治体や福祉団体など134団体の取組が紹介され、全国から集まった参加者により情報交換が行われ、会場は熱気に包まれました。

バックNoの検索は

